

八戸市美術館ボランティアだより

ハビボ通信

八戸市美術館
〒031-0031
青森県八戸市番町10-4
TEL 0178(45)8338
<http://www.hachinohe.ed.jp/artmuseum/>

「八戸の顔」

= 1年の活動を振り返って =

八戸市美術館「ハビボ会」代表 安藤清一

日本の発案から、国連で2001年を「ボランティア国際年」とする決議がなされ、世界各地でボランティア活動がおおいに推進され、現在はますます広がりを見せている。ボランティア活動とは、一般的に「みずから進んで社会をよりよくしていくための事業を無報酬で行う活動」と定義。ハビボ会員もこれに沿って、ご自身の技能と時間を提供している。自分自身をより生かしていくためにも、今、ボランティア活動が出来るという自身の現状に感謝し、喜びを感じて八戸市民の皆様と接する。

さて、先日行事・広報副リーダーの山口礼子さんから「ハビボ通信9号」を出すという電話を頂いた。年3回発行は無理かと思っていたので前向きな姿勢に感心した。八戸市の活性化に寄与している広報の一つである。資料整理リーダーの若林松蔵さんは副リーダーの木村伯子さんとともに、綿密な活動計画と共に美術館内で美術情報資料や図書の整理を行う。

また、白石昭宣事務局長は「今年度の鑑賞の旅の企画・運営は面白い」と言う。その通りである。ハビボ会員の感性や想像力を養うイベントにしてほしいと願う。奥入瀬の新緑、岩木山の背後に広がる夕焼け空、りんごの紅色にイチョウの黄金色。新鮮な驚きを覚え、まばゆいばかりに輝く色彩の世界が広がっていた県立郷土館での「加藤武雄版画展」。岩手県立美術館で開催された20世紀最大の宗教画家「ルオー展」では独特の黒く太い線で展示された約200点の作品に圧倒された。八戸市出身の芥川賞作家三浦哲朗氏の名誉市民受賞及び作家生活50周年を記念して、その足跡をたどる特別展「三浦哲朗作品展」が開催され、出品点数288点で2,853人の入館者数があった。吉田智恵さんの朗読に感銘を受ける。

ハビボ会は市民として親しみ、芸術活動の場として活用している市美術館を大いに盛り上げていく姿勢が重要と考え、表現力の場として水彩画と油絵入門講座の受講生を募集したところ約70人を超える申し込みがあり、活動が続けられた。講師は安藤清一、白石昭宣さん、若松松蔵さん、浅沼弘さん、工藤成子さんで人気の講座である。

八戸市博物館協議会副会長の私は、国が豊かになるための政策の中心に芸術文化を位置付け、創造性こそが社会や経済の活性化につながるという考え方を常に持っている一人である。八戸の文化拠点施設である市美術館、市博物館、市縄文学習館は八戸の顔である。年々企画・開催が各方面から注目されてきていることは喜ばしい。

平成17年度の総会を3月7日(火)に美術館で行いました。今年度の活動報告と会計報告、各部からの反省とこれからの取り組み方などを話し合いました。



【今年度で退職される松本参事さんよりハビボ会へのメッセージを戴きました。】

【ビーバ ハビボ】

美術館事務室 松本貴四郎

皆さんのボランティアへの参加は、美術に興味があったからとかいろいろな企画をやってみたくか、きっかけは個人個人で様々だったと思います。今ではいろいろ活動して多くの人と知り合えた、美術作品を身近に見られた、社会のために役立てたと、何かしら生き甲斐のような共通のいいものをしっかり捉えられて、次の新しい目標へ向かっていく仲間として頑張っておられます。しかし、皆さんは年齢層も幅広く体の好不調もありますので、これからも無理をせず自分の出来る範囲で楽しみながら、そして美術館との共通理解のもとで活動していただければと思います。そうすることにより来館者の皆さんへもっと素晴らしい大事なサービスが出来ると思います。そして欲をいわせてもらえば私も第2の人生が参りましたら、この楽しい「ハビボ会」に参加させてもらえるかな？と思っております。

資料整理部会の活動状況について

= 資料整理・若林松蔵 =

資料整理部会では、八戸市美術館のボランティアとして美術館内3階ライブラリーで美術情報資料や図書の整理を行っています。活動日は毎月第2木曜日で午後1時から午後3時まで活動しており平成17年度は10回実施しました。現在資料整理部会の部員は5名で、チームリーダーの須川福二さんと木村伯子さんを中心に和気あいあいと楽しく資料整理を行っています。

次に本年度の主な活動内容です。全国各都道府県の美術館等から送られてきた美術館便りや企画展の図録、研究紀要等を美術館用のファイルに整理したり、図書類はコーナー毎に整理を行いました。資料整理部会の活動場所の3階ライブラリーには、全国の美術館情報コーナーのほかに各種の日本美術全集や美術関係の図書がたくさんあります。美術館に美術展などを見学にお出でになった折、是非3階のライブラリーにも立ち寄っていただき、情報コーナーや図書等をご覧になっていただければ大変嬉しいです。

研修支援部から

= 研修支援・白石昭宣 =

研修を通して会員の成長と連携を

今年度予定された研修行事を総て実施出来たことを大変喜ばしく思います。名称を「研修旅行」から「鑑賞の旅」に変えて、郷土館での「加藤武雄展」、岩手県立美術館での「ルオー展」の鑑賞、市美術館での「両洋の眼展」や「三浦哲朗展」など、絵画や文学の領域にわたり感性や創造力を磨き、また知性や教養を僅かではあるが身につけることが出来ました。これもハビボ会員が美術にこだわらず広く芸術を学ぼうとする情熱の現われだと思えます。

さらに研鑽を積みながらその成果を大いに活動に生かしていきたいものと思っております。来年度も充実した研修が出来るように努めて参りたいと考えております。



創作指導部

水彩教室・油絵教室・ワークショップ等を開催しました。

行事・広報部

通信を3回発行しました。

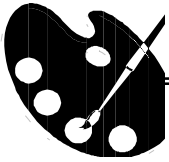
m e m b e r ' s v o i c e

美術館をお取り寄せ

今日も全国の美術館では、いろいろな展覧会が開催されています。関心のある展覧会が近場であれば行けませんが、九州など遠い場所の時皆さんはどのようにしていらっしゃるでしょうか。私は図録を取り寄せます。今回私は、雑誌で記事を見つけて気になっていた福岡市博物館で開催中の『ヴェネツィアン・ビーズとコスチューム・ジュエリー展』の図録を取り寄せました。博物館に電話をして買うための手続きを教えてもらいました。

「買って大正解!!」の図録でした。ヴェネツィアン・ビーズのとても鮮やかな色、思いもよらない色の組み合わせ、斬新なデザイン、そして歴史や解説もありとても勉強になりました。見ているだけで幸せになれる一冊です。夏には横浜にこの展覧会がくるそうです。機会があったら自分の目で実物を見たいと思いました。(笹本)





ハビボ会主催の油絵講座に参加して

＝ 斉藤しげ子 ＝

昨年10月から夜5回の講習で安藤清一講師が中心に、アドバイザーの方も加わってくださり、毎回プリントにより基礎的的確な説明があった。モデルはヴァイオリンを持ったお嬢さん。「人物は難しいけど皆さんそれに挑戦してください！そうすると風景、静物は楽になりますよ。」と安藤講師は励ます。

遅刻する人がほとんどいないのにも皆さんの意気込みを感じた。初めての人や熟練した人も混じっていたが描きたい気持ちがあれば上手下手はないのではないかと。合評会での先生方のちょっとしたアドバイスでより素敵な人物画になったことでしょう。次回が楽しみです。事務局の皆さん、講師の方々、モデルさん集まった皆さんありがとうございました。

銅版画教室

2月12日・19日・26日の各日曜日に浅沼弘講師と平川則昭講師による銅版画教室が開催されました。3回で1つの作品を創作するもので15名の参加があり、幅の広い年齢層の方たちが楽しそうに銅板に取り組みました。自分たちで考えたデザインの花や風景画など刷り上がった作品に満足そうでした。



お知らせ

4月6日(木)から16日(日)まで、昨年からデーリー東北でエッセイと挿絵を掲載されている沢野ひとしさんの原画のイラスト展があります。開催期間中に会員の方のお手伝いをお願いしたいので、ご都合のよい日を事務局までご連絡下さい。

水彩画入門講座

平成18年6月～平成18年9月

Aコース ・第一・第三金曜日 (定員20名)

Bコース ・第二・第四金曜日 (定員20名)

時間 午後6時15分～8時00分

場所 八戸美術館 (2F 講義室)

内容 ・どなたでも応募できます。

・ 初心者向けにできるだけ平易で親しみやすい入門

講師 安藤清一 白石昭宣 浅沼弘

受講料 年間 4,000円(資料代)

用意する物 各自道具類をご持参下さい

受講生説明会 平成18年6月9日(金)午後6時15分

申し込み・問い合わせ 平成18年5月31日(水)迄

美術館へ【 45-8338】



松本さんを囲む

2月4日午後6時から「さめ八」で美術館参事松本貴四郎さんの退職送別会が行われました。これまでの会へのご協力に感謝して花束を贈り、ハビボ会への労をねぎらいました。退職後はハビボ会に参加させていただきたいという嬉しいお話が聞け、会員の方からの楽しい余興に皆さん大いに盛り上がり、それぞれ隠れた個性が発揮された楽しいひとときでした。松本さん、お疲れ様でした。



【ハビボ会会員募集】

広報はちのへ4月号に新規会員募集の記事が掲載されましたがごらんになりましたでしょうか。継続される方も美術館での手続きを忘れずに行うようにしてください。

ハビボ会では、美術館で行われる各行事のお手伝いやワークショップの開催などのボランティア活動を行っています。美術・美術館・創作に関心のある方、一緒に活動してみませんか。

応募条件は、ハビボ会で開催する研修会参加出来ること、年齢・性別は不問です。会費は事務連絡費として600円を入会時にいただきます。お申し込みは4月19日(水)までに、直接八戸市美術館までお越し下さい。(電話での受付は行いません)

美術館行事予定



美術館コレクション展
「新収藏品展」
開催期間 3月25日(土)～5月21日(日)
《出品作家》高橋貞吾・加賀利孝・月館れい
西村健次郎・名久井由蔵
特別展示 左館 暁・久保田政子

美術館コレクション展Ⅳ
「新収藏品展」
特別展示 左館 暁・久保田政子

《出品作家》
高橋貞吾
加賀利孝
月館れい
西村健次郎
名久井由蔵
《特別展示》
左館 暁
久保田政子

美術館コレクション展

「新収藏品展」

開催期間 3月25日(土)～5月21日(日)

《出品作家》高橋貞吾・加賀利孝・月館れい
西村健次郎・名久井由蔵

特別展示 左館 暁・久保田政子

沢野ひとし「四季の風」

原画イラスト展

開催期間 4月6日(木)～4月16日(日)

「七尾英鳳・石橋玉僊 - 日本画の美 -」

開催期間 4月28日(金)～5月7日(日)

4月の市民ギャラリー

「楢館晴子作品展」

開催期間 4月21日(金)～4月23日(日)

お知らせ

《開館時間変更のお知らせ》

金曜日の開館時間延長(午後8時まで)は3月で終了し、今後開催される特別展の開館延長時間を、土・日は午後7時まで延長します。

編集後記

今年度も楽しめるハビボ通信になれば幸いです。いつの日か八戸美術館も金沢21世紀美術館のようになれたらと思います。よろしく願いいたします。
成田

夜に見る冬の星座オリオンの位置が、段々西に移っているのを見て冬が終わりに近づいていることを実感しています。春ももうすぐですね、

先日問い合わせをした福岡博物館の方の話では、福岡は今、梅が満開とのこと。桜は3月下旬だそうです。図録だけではなく、春の空気も送ってもらったような気がします。

今回も会員の皆さんにご協力いただき大変感謝しております。今年度もどうぞよろしく願いいたします。
笹本

先日の風は全国ニュースでも放送されるほどの強い風でしたが、それにも負けず劣らずの早さで原稿を書いてくださった皆さん、ありがとうございました。次号こそは余裕をもって思いつつ、緩慢に慣れた頭と体はいうことをきいてくれませんか。本年度の反省として次年度に活かしたいと思えます。

桜の便りもちろはら聞こえるこの頃、4月の沢野ひとしさんのイラスト展が楽しみです。山口

